

名古屋港の港湾機能の強化に関する 要望書



平成 29 年 7 月
名古屋商工会議所
名古屋港振興協会
名古屋港利用促進協議会
名古屋海運協会
名古屋港運協会
東海倉庫協会

名古屋港の港湾機能の強化に関する要望

日頃は、名古屋港の発展のために、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

名古屋港は、背後圏に地域の雇用を支える自動車、工作機械、航空・宇宙、鉄鋼、電気製品等の産業が集積しており、中部地域の「モノづくり産業」の発展に欠かせない非常に重要な社会インフラであります。

平成28年の総取扱貨物量は、1億9,300万トンと15年連続で日本一、貿易黒字額においては、他港を大きく引き離す約6兆円を誇るなど、国内屈指の実力を持つ名古屋港は、当地域のみならず我が国の海の玄関口として着実な成長と発展を続けております。

今後も、この地域が我が国の経済・産業を牽引し続けるためには、生産性向上により「モノづくり産業」のさらなる成長を図る必要があります。これらを国際産業戦略港湾として、物流面で支える名古屋港において、ストック効果を最大限発現できるよう、コンテナ貨物、完成自動車及びバルク貨物を取扱う総合的な港湾のより一層の機能強化が必要不可欠であります。

また、港湾整備に伴い発生する浚渫土砂の新たな処分場の早期確保や、名古屋港への道路ネットワークの整備が必要であります。

今後予想される南海トラフ巨大地震等の発生により、名古屋港の物流機能が地震や津波等の被害により麻痺することは、我が国の経済に深刻な影響を与えかねないことから、防災・減災対策をさらに強化する必要があります。

つきましては、平成30年度の予算編成に当たり、必要な予算を確保していただくとともに、名古屋港の港湾機能の強化に向けた施策の推進に対し、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

1. 東南アジア向けの貨物が急増する中、コンテナ船の大型化が進展しており、**コンテナターミナルの改良**による効率的な輸送の実現に向け、**飛島ふ頭東側における機能強化**について、一刻も早い対応が必要
2. 大型化する自動車運搬船の対応とともに、**完成自動車取扱機能の集約・拠点化**による効率的な輸送の実現に向け、**金城ふ頭における機能強化**について、一刻も早い対応が必要
3. 南海トラフ巨大地震が想定されている中、災害時にも経済活動を停滞させることのないよう、**港湾物流機能の維持**が必要であり、耐震強化岸壁の整備などの対応が必要
4. 名古屋港へのアクセス向上、渋滞緩和を図り、生産性向上による経済・産業の更なる発展と、災害時の避難経路や救援活動の役割が期待される**名古屋環状2号線等の早期整備**や**一宮西港道路の早期具体化**が必要

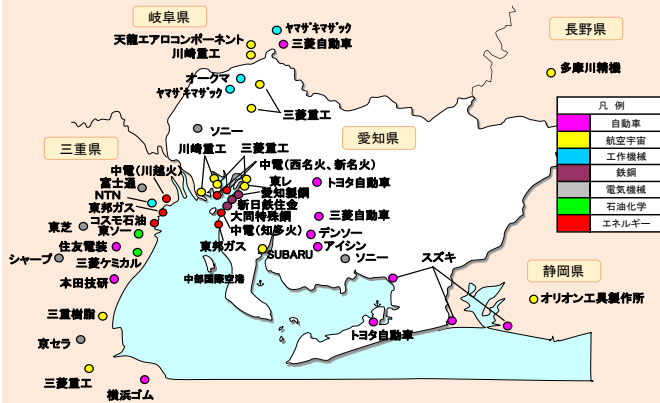
平成29年7月

名古屋商工会議所会頭	山本亜土
名古屋港振興協会会長	藤森利雄
名古屋港利用促進協議会会長	高橋浩朗
名古屋海運協会会長	坪井伸夫
名古屋港運協会会長	後藤正三
東海倉庫協会会長	白石好孝

コンテナ取扱機能の強化



世界屈指の「モノづくり産業」が集積～中部地域の強み～



港との連携による好循環

～名古屋港と道路ネットワークが生み出すストック効果～

